

## 子ども・子育て支援給付の量の見込みと提供体制の確保

## (1) 1号認定(3歳から5歳 保育の必要なし)

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

(人)

	現状 27年 10/1 現在	定員	量の見込み					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
①量の見込み (必要利用定員総数)	346	995	288	275	267	258	240	
② 内容の 確保の	幼稚園	995	995	995	995	725	725	725
	認定こども園 (幼稚園型)			0	0	255	255	255
②-①	651		707	720	713	722	740	

## 【今後の方向性】

ニーズの確保に向け、これまでどおり実施していきます。また、幼稚園の認定こども園への移行について支援していきます。

## (2) 2号認定(3歳から5歳 保育の必要あり)

認定こども園は、幼稚園と保育所が一体化した施設で、就学前の子どもを保護者の就労の有無にかかわらず受け入れ、教育と保育の両方の機能を提供するとともに、地域における子育て支援事業を行う施設で、幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4タイプがあります。

保育所は、就労などのため家庭で保育できない保護者に代わって、就学前児童の保育を行う施設です。

(人)

	現状 27年 10/1 現在	定員	量の見込み					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
①量の見込み (必要利用定員総数)	209	213	249	237	230	223	207	
② 内容の 確保の	保育所(定員)	213	213	213	213	213	231	231
	認定こども園 (幼稚園型)			0	0	15	15	15
②-①(定員)	4		△ 36	△ 24	△ 2	23	39	

## 【今後の方向性】

保育所の拡充及び幼稚園の認定こども園への移行により、ニーズの確保を図ります。

### (3) 3号認定（0歳から2歳 保育の必要あり）

地域型保育は、少人数の単位で0歳から2歳の子どもを預かる事業で、家庭的保育、小規模保育、事業所内保育、居宅訪問型保育の4つの類型があります。

(人)

	現状 27年 10/1 現在	定員	年齢	量の見込み					
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
①量の見込み (必要利用定員総数)	39	22	0歳	36	34	33	31	30	
	136	95	1歳 2歳	146	134	126	120	114	
	175	117	計	182	168	159	151	144	
②確保の内容	保育所(定員)	22	22	0歳	28	28	28	32	32
		95	95	1歳 2歳	109	109	109	117	117
		117	117	計	137	137	137	149	149
	地域型保育	/	/	2歳	0	0	5	5	5
		/	/	0歳	1	1	1	1	1
		/	/	1歳 2歳	2	2	2	2	2
			計	3	3	3	3	3	
②-①(定員)	△17	/	0歳	△7	△5	△4	2	3	
	△41	/	1歳 2歳	△35	△23	△10	4	10	
	△58	/	計	△42	△28	△14	6	13	

#### 【今後の方向性】

保育所の拡充及び地域型保育の実施、幼稚園の認定こども園への移行により、ニーズの確保を図ります。

#### 【保育利用率の目標値】

3号認定子ども（0～2歳）の計画期間中の保育利用率（0～2歳の子ども全体に占める3号認定の利用定員数の割合）の目標値は次のとおりです。

	平成27年 10/1 現在	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
保育利用率 目標値	22.9%	27.8%	30.0%	31.7%	36.2%	37.8%